

※ 本資料は、去る8月26日、報道解禁日時指定で報道機関に対して提供した資料です。

平成25年 8月26日
山形県教育庁義務教育課

「平成25年度全国学力・学習状況調査」結果について

1 実施概要について

(1) 調査の目的

- ①義務教育の機会均等とその水準の維持向上
- ②教育に関する継続的な検証改善サイクルの確立
- ③児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に活用

(2) 調査の対象及び内容【平成25年4月24日（水）実施】

- ①各小学校6年生及び各中学校3年生の全児童生徒が対象
- ②調査内容
 - ア. 国語、算数・数学の学力調査
 - イ. 児童・生徒の学習状況等に関わる質問紙調査
 - ウ. 学校に対する質問紙調査

(3) 実施の状況（公立小中学校の実施学校数と児童生徒数）

①全国の状況

○小学校20,418校

- ・国語A：1,108,245名 国語B：1,108,075名
- ・算数A：1,108,272名 算数B：1,108,234名

○中学校9,752校

- ・国語A：424,157名 国語B：424,258名
- ・数学A：424,379名 数学B：424,373名

②本県の状況

○小学校273校

- ・国語A：10,219名 国語B：10,217名
- ・算数A：10,218名 算数B：10,216名

○中学校103校

- ・国語A：9,798名 国語B：9,799名
- ・数学A：9,799名 数学B：9,800名

※県立特別支援学校については、8月27日以降公表

2 学力調査の結果（本県における各教科の平均正答率）

(1) 小学校6年生 ※数値は正答率%（正答数／設問数）

◆A（主として知識に関する問題）について

- ・国語……本県 **63.9%**（全国 62.7%） +1.2ポイント（全国比）
- ・算数……本県 **77.3%**（全国 77.2%） +0.1ポイント（全国比）

◆B（主として活用に関する問題）について

- ・国語……本県 **48.5%**（全国 49.4%） -0.9ポイント（全国比）
- ・算数……本県 **57.1%**（全国 58.4%） -1.3ポイント（全国比）

(2) 中学校3年生 ※数値は正答率% (正答数/設問数)

◆A (主として知識に関する問題) について

・国語……本県 **78.9%** (全国 76.4%) +2.5 ポイント (全国比)

・数学……本県 **63.1%** (全国 63.7%) -0.6 ポイント (全国比)

◆B (主として活用に関する問題) について

・国語……本県 **69.1%** (全国 67.4%) +1.7 ポイント (全国比)

・数学……本県 **40.7%** (全国 41.5%) -0.8 ポイント (全国比)

※なお、学力・学習状況調査の詳細については、別紙資料1参照

3 県教育委員会のコメント

平成25年度全国学力・学習状況調査は、平成21年度以来4年ぶりに全国全ての小・中学校が対象となりました。

学力の調査結果によると、「国語」については、平均正答率では小学校国語Bを除いて全国平均を上回っておりました。これは、小・中学校どちらも「書く活動」や「読書活動」を大切に取り組んできていることが、成果につながっているものと思われます。

一方、「算数・数学」については、平均正答率では小学校算数Aを除いて全国平均を若干下回る結果となりました。これまでの調査結果から、算数は本県の課題となっており、今年度は特に小学校5・6年生で算数を重点に学力向上をめざした教員配置を行っております。引き続き各市町村教育委員会と連携しながら、今後とも一層の授業改善に取り組んでいく必要があると考えております。

学習状況の質問紙調査では、読書好きな子どもが多く、地域の行事への参加や近所の方々への挨拶の割合や、自尊感情・思いやり・規範意識の項目が全国平均よりも高い等、本県「いのちの教育」の成果が改めて浮き彫りとなりました。

しかし、テレビ等を見る時間が2時間以上で全国平均よりも高いこと、家庭学習に2時間以上取り組んでいる割合が全国平均よりも低いこと等が課題となっています。家庭での時間の使い方について、今後、家庭の協力を得ながら改善を進めていく必要があると考えます。

県教育委員会としましては、本調査結果の評価と今後の取組みについて保護者等に適切に説明されるよう、各市町村教育委員会及び各学校に働きかけてまいります。また、県と市町村の指導主事が一体となって、各学校における授業改善を支援してまいります。

4 その他

- 各市町村教育委員会には、平成25年8月27日(火)、各小・中学校、特別支援学校には、8月28日(水)に本調査の結果についての情報が提供されます。
- 各市町村教育委員会及び各小・中学校において、情報公開条例との関連、序列化や過度な競争の防止、個人情報の保護等に留意し、適切な取り扱いのもと結果の公表・活用が行われるよう働きかけております。

平成25年度全国学力・学習状況調査の結果による山形県の現状と課題

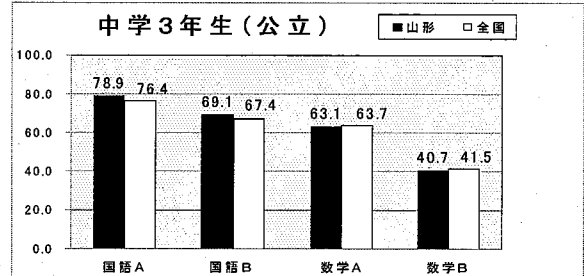
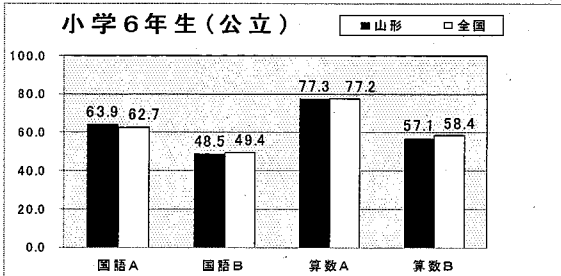
別紙資料1

1 学力調査の結果

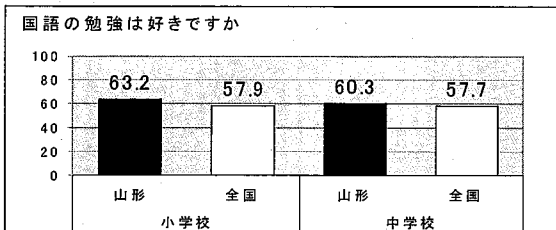
小学校	国語A	国語B	算数A	算数B
山形県	63.9	48.5	77.3	57.1
全国	62.7	49.4	77.2	58.4

小中学校ともに「国語」は概ね良好である。一方で、「算数・数学」は、特に「B活用」問題に課題が見られた。

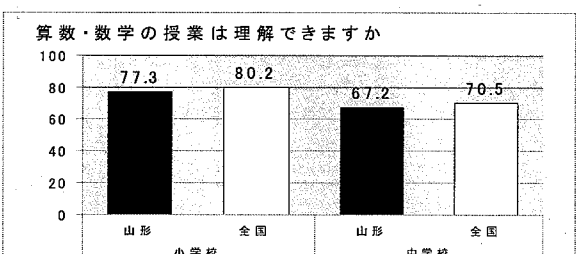
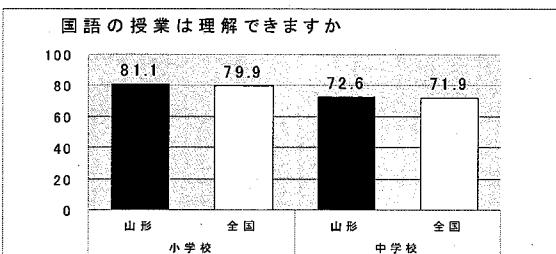
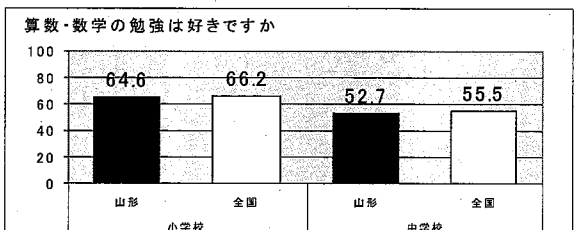
中学校	国語A	国語B	数学A	数学B
山形県	78.9	69.1	63.1	40.7
全国	76.4	67.4	63.7	41.5



2 教科の学習状況調査の結果



学習状況結果から、小中学校ともに、「国語」への興味・関心、内容理解が全国平均より上回った。一方で、「算数・数学」ではいずれも下回る結果であった。



3 各教科の考察

◎：よさ ▲：課題 ☆：授業改善のポイント・次の一手

【国語】

<小学校>

- ◎ 目的に応じ、必要なことを文章から捉え、書き抜くことは得意である。
- ▲ 複数の情報を正確に捉えて、自分の考えを整理して表現することが苦手である。
- ☆ ペアやグループで話し合ったり、資料を持ち寄ったりしたことをもとに、自分の考えを見直し、再構成(書きまとめる等)する学習を取り入れる。

<中学校>

- ◎ 事柄や根拠を明確に示し、自分の考えを具体的に書くことは得意である。
- ▲ 複数の情報を正しく捉え、表現の違いや特徴を的確に理解する力が不十分である。
- ☆ 複数のまとめた文章等を短時間で読み比べ、立場や表現の違い・特徴等を見分ける学習をさらに取り入れる。

【算数・数学】

<小学校>

- ◎ 図を観察し、数値を公式に当てはめて問題を解くことは得意である。
- ▲ 条件に合わせて、必要な情報を整理し、根拠を明確にして説明することが苦手である。
- ☆ 情報を整理し見通しをもって考えることや、図や式・言葉等を使って相手にわかりやすく説明する算数的活動を大切にする。

<中学校>

- ◎ 表やグラフの読み取りや作成等、基礎的な数値を処理することは得意である。
- ▲ 身の回りの様々な事象を数学的に捉え、論理的に考察・表現することが苦手である。
- ☆ 実生活の具体的な場面や「高み」の問題を提示し、規則性を見つけたり一般化を図ったりする数学的活動にじっくりと取り組ませ、問題解決のよさが実感できる授業を行う。

4 学習状況調査の結果から

【小学校】

家庭生活に関わること

【中学校】

子どもたちの実態(当てはまる・やや当てはまる児童の割合：%)

項目	山形県	全国
1 読書への興味	76.9	72.1
2 家庭学習をする時間 (2時間以上)	17.0	27.1
(30分未満)	4.7	12.2
3 携帯・スマートフォン所持率(所持なし)	71.1	55.9
4 テレビ等を視聴する時間 (2時間以上)	66.9	62.5
5 テレビゲーム等をする時間 (2時間以上)	27.6	28.2

子どもたちの実態(当てはまる・やや当てはまる児童の割合：%)

項目	山形県	全国
1 読書への興味	71.3	70.1
2 家庭学習をする時間 (2時間以上)	28.0	36.5
(30分未満)	8.8	14.7
3 携帯・スマートフォン所持率(所持なし)	51.5	31.5
4 テレビ等を視聴する時間 (2時間以上)	57.0	55.5
5 テレビゲーム等をする時間 (2時間以上)	27.9	27.5

【小学校】

児童・生徒自身に関わること

【中学校】

子どもたちの意識(そう思う・そうしている児童の割合：%)

項目	山形県	全国
1 自尊感情	77.7	75.7
2 思いやり	94.7	93.0
3 将来の夢・目標	89.2	87.7
4 地域とのつながり	83.5	63.9
5 あいさつ	95.5	91.8
6 規範意識	93.9	90.6

子どもたちの意識(そう思う・そうしている生徒の割合：%)

項目	山形県	全国
1 自尊感情	70.4	66.4
2 思いやり	95.9	94.2
3 将来の夢・目標	74.6	73.5
4 地域とのつながり	55.9	41.6
5 あいさつ	91.3	87.1
6 規範意識	93.5	92.5

【本県のよさ】

- 読書好きな子どもが多く、本に親しんでいる様子が見られる。また、家庭学習の習慣も身に付いている。
- 「自尊感情」「思いやり」「規範意識」の項目が高く、本県「いのちの教育」の着実な取組による成果である。
- 地域の行事に参加したり、近所の人へ会った時に挨拶したりする割合が高く、地域とのつながりが密接であることがわかる。

【本県の課題】

- ▲ テレビやDVDを視聴する時間が全国平均よりも高く、長時間番組等に夢中になってしまう傾向が見られる。
- ▲ 上記の傾向が見られる一方、2時間以上家庭学習をする時間の割合が全国平均よりも低く、家庭での時間の使い方に課題が見られる。
- ▲ 算数・数学については、授業への興味・関心、内容理解が全国平均よりも低く、更なる授業改善が必要である。

5 本県としての今後の対策

(1) 「全国学力・学習状況調査結果」の積極的な公表と活用の推奨

- 県の公表資料を参考にした各市町村・各学校における調査結果の分析・評価・公表
- 「調査問題から見える『国語、算数・数学』の授業改善ポイント」資料を活用した校内研修

<参考>

※学校質問紙調査の結果による

<昨年度(H24)における「活用」状況>

(%)	
小学校	活用した学校の割合
山形県	77.6
全国	88.7
中学校	活用した
山形県	61.1
全国	84.9

<昨年度(H24)における「公表・説明」状況>

(%)	
小学校	公表した学校の割合
山形県	35.1
全国	73.1
中学校	公表した
山形県	32.1
全国	68.6

(2) 各学校における授業改善への支援

<授業改善の視点>

- ① 精一杯考える「高みの問題」の提示
- ② 考えのちがいやよさが認められ、目的に応じて練り上げられる「学び合い」
- ③ エラー(誤答)や子どもの考えを活かした「納得感のあるまとめ・振り返り・練習」
- ④ みんなが「わかる・できる」ユニバーサルデザインの授業づくり

(3) 学力向上に係る「研修会」の開催

- 「やまがたの子どものまなびを考えるフォーラム」・・・「算数・数学」の学力向上に係る講演や、各地区の「担任力向上プロジェクト校」による実践発表・協議
- 「読書活動推進フォーラム」・・・「読育」の推進に向け、学校図書館を活用した授業や読書活動の充実を目指した講演・事例発表・ワークショップ